

承認指令書番号	27動薬第1892号
販売開始	2006年8月

貯法	密封容器 凍結を避け、冷所保存
----	--------------------

## 脳下垂体後葉ホルモン製剤

要指示医薬品 指定医薬品

## 動物用オキシトシン注射液 DSP

## 【成分及び分量】

有効成分	含量
オキシトシン	1管(5 mL)中50単位

## 【効能又は効果】

牛：陣痛微弱、子宮脱、胎盤停滞、ミイラ変性胎児の排出、射乳促進

馬：陣痛微弱

豚：陣痛微弱、射乳促進

犬：陣痛微弱

猫：陣痛微弱

## 【用法及び用量】

1日1回1頭当たり下記の量を静脈内、筋肉内又は皮下に注射する。

牛：20～150単位

馬：20～150単位

豚：20～50単位

犬：5～30単位

猫：5～30単位

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

(1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。

(2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

(3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄に関する事項)

(1) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。

(2) 小児の手の届かないところに保管すること。

(3) 本剤の保管は直射日光、高温及び凍結を避け、冷所で保管すること。

(4) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

(5) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

(1) 妊娠中の女性に、投与作業を行わせないこと。

(2) 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

(1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

(1) 本品は「ワンポイントカットアンプル」を使用しているため、カット部をエタノール綿等で清拭した後、ヤスリを用いず、アンプル枝部のマークの反対方向に折り取ること。

(2) 注射器具は滅菌されたものを使用すること。

(3) 本剤を静脈内注射する場合には、緩徐に注入すること。

(専門的事項)

## 1. 対象動物の使用制限等

(1) 本剤は、妊娠等により子宮頸管が緊縮している場合には投与を避けること。

## 【薬理学的情報等】

1. 本剤は子宮筋に対して直接作用し、子宮に強い律動的な収縮を起こすが、動物の種類、妊娠の有無及びその時期、性周期などによって著しく影響される。

2. 本剤は射乳中の動物の乳管平滑筋を収縮させ、乳汁射出を促す。

3. 本剤は他の平滑筋も収縮させる作用があるが、子宮筋におけるほど顕著ではない。

## 【使用期限】

ラベル・外箱に表示

## 【包装】

5 mL (50単位) × 10管

## 【製品情報お問い合わせ先】

DSファーマアニマルヘルス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7

<https://animal.ds-pharma.co.jp>

製造販売元

DSファーマアニマルヘルス株式会社

大阪市中央区本町2-5-7

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。